



## インスリン含量の誤認(第2報)

インスリンの単位を誤認し、過量投与に伴い低血糖をきたした事例が報告されています。インスリンは100単位/mLに濃度が統一されています。

### 「1バイアル 1000単位(10mL)」

インスリン含量誤認の情報提供(No.1)があった2006年12月から2012年3月までに、類似の事例が8件報告されています。そのうち3件は、経験年数1年未満の医師や看護師によるものです。

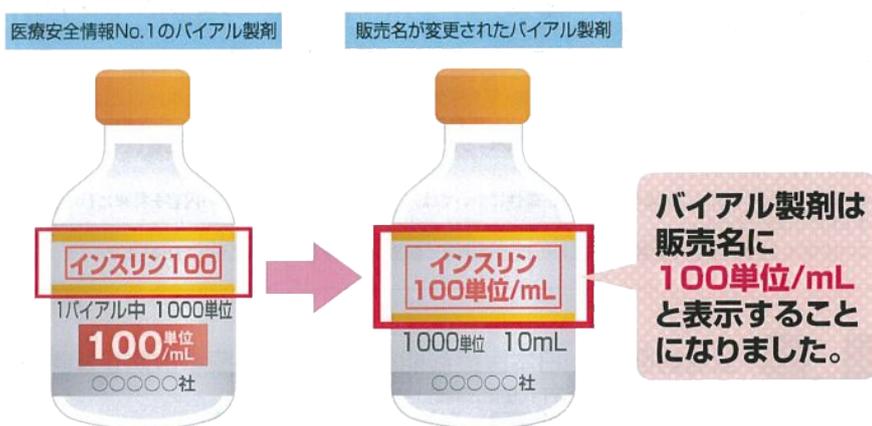
#### 事例:

看護師A(1年目)は、持続インスリン投与をしていた患者のノボリンRの調整を初めて行った。指示簿には、『ノボリンR注 100単位/mL(10mL) 40単位+生食 40mL』と書かれていた。看護師は、指示簿を見て、ノボリンR注は10mLが100単位だと誤認し、40単位の指示に対して4mL(400単位)を生食と調製し、総量40mLにした。4時間後、患者は声を掛けても覚醒せず、低血糖(BS17mg/dL)になっていた。

#### 事例が発生した医療機関の取り組み:

インスリンの濃度は100単位/mLで、1バイアル1000単位(10mL)であることを周知徹底する。

「インスリン製剤販売名命名の取り扱いについて」の通知に伴い、販売名が変更されています。



詳細は、公益財団法人 日本病院機能評価機構「医療安全情報No.66」をご参照ください。

<http://www.jcqh.or.jp/>